

しんきんカップ第36回静岡県キッズU-10サッカー大会 中西部予選 要項

趣 旨	静岡県の将来を担う少年たちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことの出来るようサポートする。子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう、文化として醸成していくことを目指す。指導者はエントリー選手全員出場に向けて努力する。
主 催	一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部
主 管	一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部4種委員会
特別協賛	一般社団法人 静岡県信用金庫協会
期 日	2021年10月16日(土)・17日(日) 予備日10月23日(土曜日)24日(日曜日)
会 場	1次リーグは各地区1会場、2次トーナメントは藤枝地区にて担当
参加資格	① 本大会趣旨に賛同するチームであること。 ② (一財)静岡県サッカー協会に登録した10歳以下(4年生～2年生)の選手で構成されたチームで(一財)静岡県サッカー協会4種委員会各地区の予選を経たチームであること。 ③ 選手は個人登録しており、スポーツ安全保険に加入していること。 ④ ベンチに入る監督、コーチは、(公財)日本サッカー協会公認コーチ資格(D級以上)を有していること。 ⑤ 地区予選で1登録チームから2チーム参加した場合であって、2チームとも中西部大会に参加する場合は、その2チーム間で選手の入替えはできない。地区予選で1登録チームから2チーム参加した場合であって、どちらか1チームが中西部大会に参加する場合は、元の選手は入れ替えられないが、25人登録の空いている人数だけ、参加しないチームから追加ができる。
参加チーム	焼津地区4チーム、藤枝地区6チーム、島田地区4チーム、榛原地区2チーム、計16チーム(県大会出場枠:5チーム)
参加費	3,000円/チーム
チーム構成	① 大会エントリー表に記載された選手・指導者(代表者・監督・コーチ)・医療従事者に大会出場資格が与えられる。 ② エントリー登録数は選手25名以下、指導者7名以下、医療従事者1名以下とし、当日、試合毎にベンチに入ることができる。 ③ 選手・指導者・医療従事者はエントリー表に記載された中から、選手16名以下、指導者2名以上5名以下(医療従事者を含む)を選出す ④ エントリーされた選手・監督・コーチは、次の方法によりJFA登録(顔写真必須)についてチェックを受けなければならない。 選手は登録選手一覧を印刷したもの又は個別の選手証を印刷したものでチェックを受けなければならない。 監督・コーチは、印刷されたライセンス証によりチェックを受けることが望ましいが、ライセンス証を電子媒体による画面表示することでチェックを受けても良い。印刷されたライセンス証でチェックを受けた場合は、首からかけることを推奨する。
競技方法	① 4チーム4ブロックの1次リーグ戦を行い、各ブロック1位の4チームが県大会出場、各ブロック2位チームの4チームで2次トーナメント戦を行い、1位チームが県大会出場とする。(県大会枠の抽選は、2次トーナメント終了後、会場で行う。) ② 試合時間は、前半12分(ハーフタイム5分)後半12分とする。 ③ 1次リーグ戦は、同点でも延長は行わない。 リーグ戦の順位は(1)勝点<勝3点 分1点 負0点>(2)当該チームの対戦成績(3)得失点(4)総得点(5)抽選 の順により決定する。 なお、抽選は代表者又は監督が行う。 ④ 2次トーナメント戦で勝敗が決しない場合は、1分間のインターバル後、PK方式(3人)で決定する。 ⑤ 熱中症対策として、「熱中症対策ガイドライン」に沿って試合を実施する。測定は、各試合開始前とハーフタイムにセンターサークルで1分間とし、ハーフタイムで数値が変わればその数値に従い試合の判断をする。試合途中でWBGT=31℃以上になった場合は試合を中止しその時点での点数で勝敗を決める。なお、試合進行時間の変更などの判断については、本部において協議し決定する。 WBGT=31℃以上→PK戦(3人)、28℃以上→CoolingBreak3分、25℃以上→CoolingBreak3分又は給水タイム、21℃以上→給水タイム、21℃未満→給水タイムをとることができる。
競技規則	① (公財)日本サッカー協会8人制競技規則及び(一財)静岡県サッカー協会4種委員会県大会要項並びに県大会試合細則に準ずる。 ② 選手交代は交代ゾーンを設ける。また、交代人数・回数とも制限しない。一度退いた選手がその試合中に再び試合に出場することができる。(自由な交代を認める。) ③ ベンチに入る交代要員はピッチ内選手と違う色彩の服を着用する。(ビブス可) ④ GK交代の場合は、アウトオブプレー中とし、主審・補助審判の承認を得て交代する。 ⑤ GKがFPへポジションを変える場合、パンツ・ストッキングはそのまま、他の選手と重複しない番号あるいは番号なしのFPのユニホームを着用する。 ⑥ FPがGKへポジションを変える場合、シャツを交換するだけで良い。また、ビブスも可とする。 ⑦ 退場者があった場合は控えの選手を補充できる。 ⑧ 一方のチームが6人未満になった場合、試合は成立しない。また、リーグ戦はそのチームの全試合結果を抹消する。 ⑨ 地区大会を通じて、退場を命じられた選手及び警告累積2回を受けた選手は、次の1試合に出場できない。 ⑩ ピッチサイズは縦60～68m×横40～50mとするが、縦60m×横40mを基本とする。ゴールは少年用(2.15m×5.00m)を使用する。 ⑪ グリーンカード制度を導入する。
審 判	① 2人審判制とし、主審及び補助審判員とも3級以上とする。 ② すべてチーム帯同(ベンチ入り可)とする。 ③ 審判を行う者がベンチに入る場合であっても、担当する審判の試合開始20分前には打ち合わせが開始できる状態にいること。(審判着のままベンチに入ることは許されない。)
ユニフォーム	① 参加チームは背番号と同じ番号がユニフォームの胸又はパンツの前面(前側面)に付いた完全に異色のユニフォームを2組(正・副)用意することが望ましいが、ない場合はビブスでも可とする。 ② 背番号は1～99の整数を使用し、0、00は避ける。1番からの通し番号でなくても構わない。 ③ 縦縞、横縞のユニフォームは台地を使用し背番号が明確にわかるようにする。 ④ シャツ(GK含む)の色彩は通常、審判員が着用する黒色と明確に判別し得るものとする。
試 合 球	公認4号球を各チーム持ち寄りとするが、会場によっては本部が用意することもある。
そ の 他	① 試合開始時刻に間に合わないチームは失格とする。また、試合開始10分前には待機し、円滑な試合進行に協力すること。 ② 試合開始・試合終了時のセレモニーは行わない。円陣も組まないこと。 ③ 試合終了後は相手チームベンチへあいさつに行かず、直接自チームベンチへ戻り、速やかにベンチを空けること。 ④ 選手・指導者ともにベンチ内では一定の距離を確保すること。一定の距離が確保できない場合は、マスクを着用すること。 ⑤ ベンチに入る代表者・監督・コーチは常に紳士的な態度で行動をとらなければならない。ゲーム中は選手が自由に判断し、様々なプレーにトライできるようサポートする場となるよう心がけること。なお、チーム代表者は応援者に対しても、常に紳士的な態度で応援を心がけるよう指導しておくこと。 ⑥ 大会要項及び県4種委員会県大会試合細則に規定されていない事項は、中西部支部4種委員会にて協議の上決定する。 ⑦ エントリー表は受付時に1部提出し、選手チェック用とする。また、試合開始30分前までに先発メンバーを記入したエントリー表を本部と相手チームに各1部提出する。

新型コロナウイルス関連

- ⑧ 各地区の4種委員長は、地区大会で使用したメンバー表及び地区大会での警告・退場者を、当番地区の4種委員長に提出する。
- ⑨ 本大会はマッチウエルフェアオフィサーを置く。
- ① 参加チームは、大会参加初日に「大会参加同意書」(様式1)を大会本部へ提出すること。
- ② 参加チームの代表者は、参加する選手、指導者から「大会参加同意書兼健康チェックシート」(様式2)を大会開催日毎に提出させ、チームのチーム指導責任者の確認を受けること。
- ③ 参加チームの代表者及び感染対策責任者は、チーム内全員に対し上記②により確認したのち、「健康管理チェックシート」(様式3)を大会本部へ提出すること。
- ④ 参加チームは大会開催日毎に規定様式の「大会観戦者名簿」を大会本部へ提出すること。
- ⑤ エントリー表に記載された選手、指導者がコロナ感染、濃厚接触者と認定された場合に、2週間の確認期間が取れない選手、指導者は大会に参加できない。(大会期間中に判明した場合も同様とする)
- ⑥ エントリー表に記載された選手、指導者がコロナ感染、濃厚接触者と認定された場合であっても、その他の選手、指導者で規定参加人数が揃えば、そのチームは大会に出場することはできる。(大会期間中に選手、指導者不足になった場合は棄権とする)